

# 課題解決にむけて焦るまえに 確認すること・必要なこと

～誰にでもわかりやすいビジョンを軸に事業を再構築～



宜野座村役場 健康福祉課  
地域包括支援センター 照屋 彩子

# 宜野座村の地域概要 ①

面積 31.3km<sup>2</sup>

日常生活圏域数 1 圏域



合計特殊出生率 2.2

※全国で3番目に高く子育てが盛んな村

	2025年
人口	6,593人
高齢者人口	1,589人
高齢化率	24.1%
後期高齢化率	12.5%
認定率	16.5%
調整済み認定率	16.7%
要介護者数	201人
要支援者数	56人
サービス事業対象者数	5人
1人当たり 介護給付費 (年)	318千円



# 宜野座村の目の前の課題

## 訪問C

対象条件が曖昧なため、目標設定や達成が難しい。  
また、ケアマネや家族の要望でサービスを導入したが、サービス終了後はまた元の生活に戻ってしまう。  
理学療法士と調整をする体制づくりができていない。

## 一般介護予防事業

### ぬちぐすい 運動教室

参加者の年齢幅が年々広がっている為、前期高齢者と後期高齢者の運動強度に差がある。また、65歳以上は誰でも参加可能としている為、要介護の方が参加することもありスタッフの介護負担が増している。  
移動手段がない高齢者の参加希望に応えるため、事業の運営に送迎を要している。

### 水中運動教室

水中運動教室は運動強度が違うアクティブクラス（元気高齢者）とリフレッシュクラス（虚弱高齢者）を設けたが、リフレッシュクラスの介護度が高く、もう一つの一般介護予防事業（ぬちぐすい教室）と差別化ができていない。

### 自主体操 教室

6区中、2区自主化に繋がることできたが、その2区においても継続するためには定期的なフォローが必要と判断し現在も3か月に1回のフォローをおこなっている。自主化に向けての取り組み方や、自主化そのものが村の地域性に合っているかの判断が難しい。

# 宜野座村の目の前の課題

地域包括支援センターを  
もっと知ってもらわな  
きゃいけない

若いうちから健康や  
介護予防について  
知ってもらう必要  
がある

地域包括支援センターを  
もっと知ってもらう  
必要がある

仕組みをかえな  
きゃ

一般介護予防の  
対象者を整理し  
なきゃ

介護予防をもっ  
と浸透させたい

総合事業を整理す  
る必要がある

ケアマネへ自立の定義  
を伝える必要がある

ケアマネへ自立の定義を  
伝えなきゃ

総合事業が訪問Cしか  
展開できていないこと  
で介護度の高い高齢者  
が一般介護予防事業に  
参加している

住民や介護事業の方たちに  
宜野座村の課題を  
知ってもらう必要がある

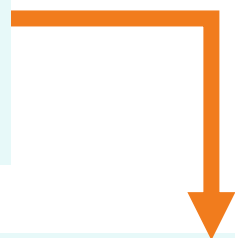


# 宜野座村の目の前の課題

- • • **それぞれの事業に課題があるけれど、**
- 1. 何から整理したらよいかわからない
- 2. 優先順位が決められない
- 3. このままではダメなのはわかるけどどこから手を付けたら良いのかわからない

# 多様な関係者と個別取組の課題について話し合いを実施

結論がみえない



基本理念（ビジョン）に立ち返る



村が目指す「高齢者の姿」がイメージできるビジョンを再構築

元気で  
活力に満ちた  
共生の村って？

イメージが湧かないなあ～  
どんな高齢者？



# 基本理念（ビジョン）の再確認

第10期宜野座村高齢者保健福祉計画の基本理念（ビジョン）

## 元気で活力に満ちた共生の村

### 元気で

よく食べ、  
よく眠り、  
よく笑い、  
ゆんたく（お喋り）  
を楽しみ、

### 活力に満ちた

夢や希望をもって、  
地域に誇りを持ち、  
自分に役割があって

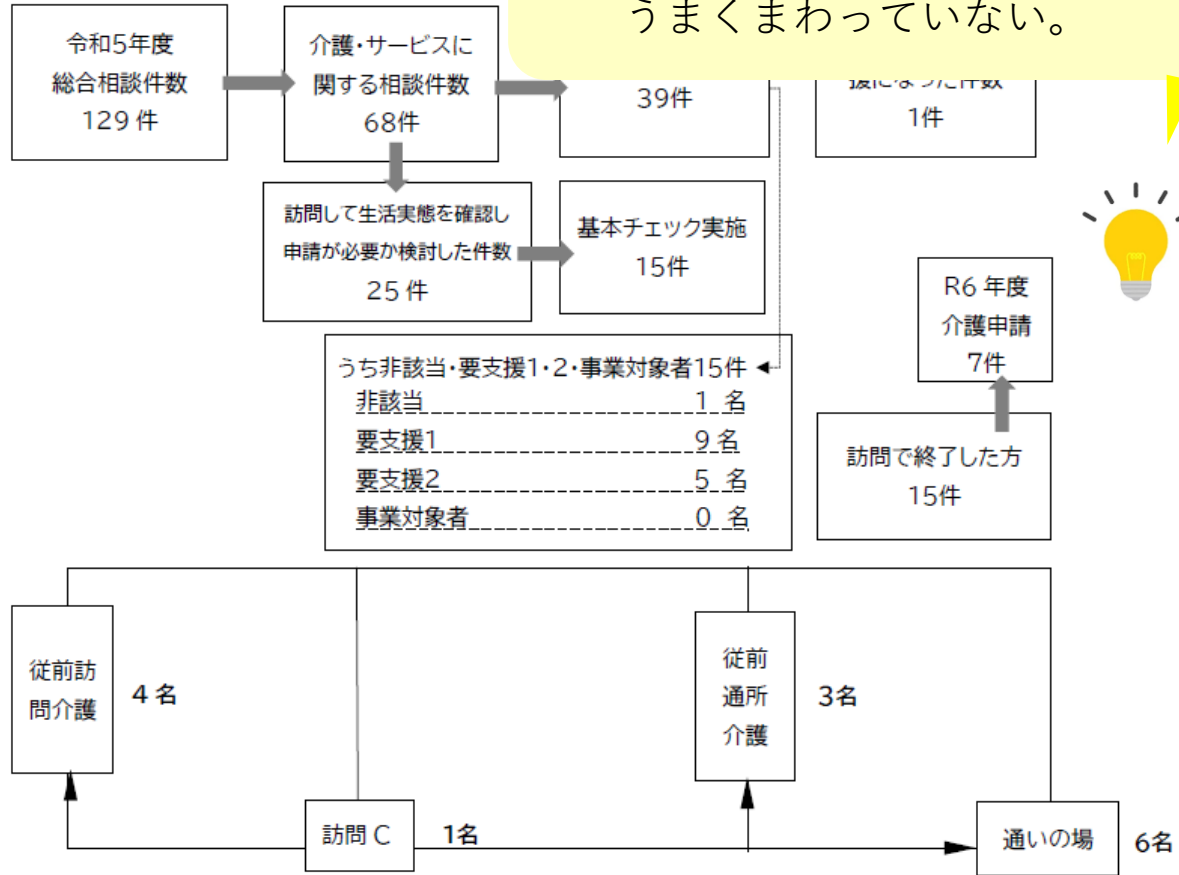
### 共生の村

お互いを気遣い合いながら  
もちつもたれつ  
その人らしく笑顔で  
自分の大好きなことが  
できるむら

# 宜野座村を取り巻く状況を見える化する

## 気付き

従前相当に流れている方が多い。  
通所Cは1件だけで総合事業が  
うまくまわっていない。



## 総合相談後の繋がり先整理

## 宜野座村のSWOT分析

以前、つきいちミーティングの際に話し合った SWOT 分析(強み・弱み)についてです。他に思い  
つくものがあれば記入をお願いします。解釈と事例についても一緒に添付しているので、参考に  
してみてください。

## 気付き

地域の強みが「地域資源」だった。地  
域の繋がりが強く、公共施設、交通手  
段が無料と恵まれている。

<h3>地域の強み</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>区を単位とした活動 各行事、各種団 体がある。</li> <li>村に貢献したい 人がいる。</li> <li>健康のため、村や 町会活動をしている</li> <li>他人に迷惑をかけない</li> </ul>	<h3>地域の弱み</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民協会の活動が 少ない。</li> <li>区民協会の活動が 少ない。</li> <li>区民協会の活動が 少ない。</li> <li>区民協会の活動が 少ない。</li> </ul>
<h3>環境の強み</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>村の施設が充実している(無料や低料金で 利用できる 体育文化施設がある。)</li> <li>区公民館が充実している(区各種団体や 区民が気軽に利用できる。)</li> <li>デマンドバスが運行中</li> <li>路線バスがまだ通っている。</li> <li>行政直営の包括なので、障がいや健康分野 などとの連携がしやすい。</li> <li>社協との関わり(住民も関係機関)</li> <li>地域保健センターのすぐそばに病院がある</li> </ul>	<h3>環境の弱み</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者の雇用場が少ない。</li> <li>村内唯一の医療施設と介護施設との 連携が不十分。</li> <li>農業庁と包括との連携不足(包括 行政色が強い)、行政サービスと民間サービスの 連携不足(連携が弱い)</li> <li>行政と住民の直接対話からの政策提言 が不足している</li> <li>受付時間と表記しているのに人数制限 がある為、受付時間内に行っても受診 できないことがある(病院)</li> <li>クリニックが無い。隣町に行っている人が多い (クリニックは主治医として長く聞かせるので村に 行って受診している)</li> </ul>

## SWOT分析

# 宜野座村を取り巻く状況を見える化する

	ぬちぐすい体操教室	水中運動教室	自主体操サークル2カ月体験会
日常生活自立度	J1~A1 自立~II	J1~A2 自立~II	J1~A2 自立~II
基本チェックリスト			
疾病の安定度	病態が安定	病態が安定	
運動・活動制限	無し	無し	無し
改善・維持・悪化	改善・維持・悪化	改善・維持	維持
	生活習慣病 廃用症候群等	骨・関節疾患 生活習慣病 廃用症候群等	

気付き

総合事業の構築ができていないので、一般介護予防事業に介護度の高い方も集まる仕組みになっている。通いの場に行けない方の受け皿が一般介護予防事業となっている。

	従前相当	A	B	C
日常生活自立度	J2~A2 自立~II	J1~A2 自立~I	J1~A2 自立~II	
基本チェックリスト				
疾病の安定度	病態が安定	病態が安定	病態が安定	
運動・活動制限	無し	無し	無し	
改善・維持・悪化	改善・維持・悪化	維持	維持	改善にもっていき たいけど 実際は維持 がある
疾患例	骨・関節疾患 生活習慣病 廃用症候群等	骨・関節疾患 生活習慣病 廃用症候群等	骨・関節疾患 生活習慣病 廃用症候群等	認知症 骨・関節疾患 廃用症候群 閉じこもり
その他				①病院でのリハビリを終えた方 ②要支援対象者または事業対象者 ③専門職の指導や助言で生活機能の向上が見込まれる方 ④生活機能向上の意思がある方 ⑤疾患のコントロールができていない方 ⑥その他



宜野座村の通いの場一覧【区ごと】(R6.12月現在)

宜野座村地域包括支援センター

区	種類	名称	場所	主催	対象者	活動時期	活動内容	参加費	連絡先
松田	1 趣味系	松寿会 (ミニデイ)	公民館ホール、松寿館、村外など	松田区事務所	75才以上の区民	5~3月、毎月2回 (第2・4木曜) 14時~16時	手工芸、ユンタク会、カラオケ会、グランドゴルフ、子ども達との交流会、村外視察など	年間 2,000円	松田区事務所 098-968-8548
	趣味系	老人会 レク部	公民館ホール	区老人会	老人会会員	第2・4火曜 20時~	会員同士の交流、余暇を楽しむ	無し	老人会役員
	趣味系	老人会 カラオケ愛好会	カラオケスナック 『ひとやすみ』	区老人会	老人会会員	第3木曜 19時~	カラオケスナック『ひとやすみ』に集い、カラオケを歌い会員同士楽しく交流	自費	老人会役員
	4 趣味系	老人会 さんしん愛好会	松寿館						
	5 運動系	松田 自主体操サークル	公民館						
	6 運動系	老人会 ゲートボール部	ゲー						
	7 運動系	老人会 ゴルフ部	久志						
	8 運動系	老人会 グラウンドゴルフ部	松田区農村公園	老人会	老人会会員	第2・4水曜 15時~	グラウンドゴルフの練習を通しての相互交流	無し	老人会役員
	9 運動系	老人会 パークゴルフ部	漢那川-71 17場	老人会	老人会会員	毎週火曜 14時~	パークゴルフの練習を通しての相互交流	プレー代	老人会役員

気付き

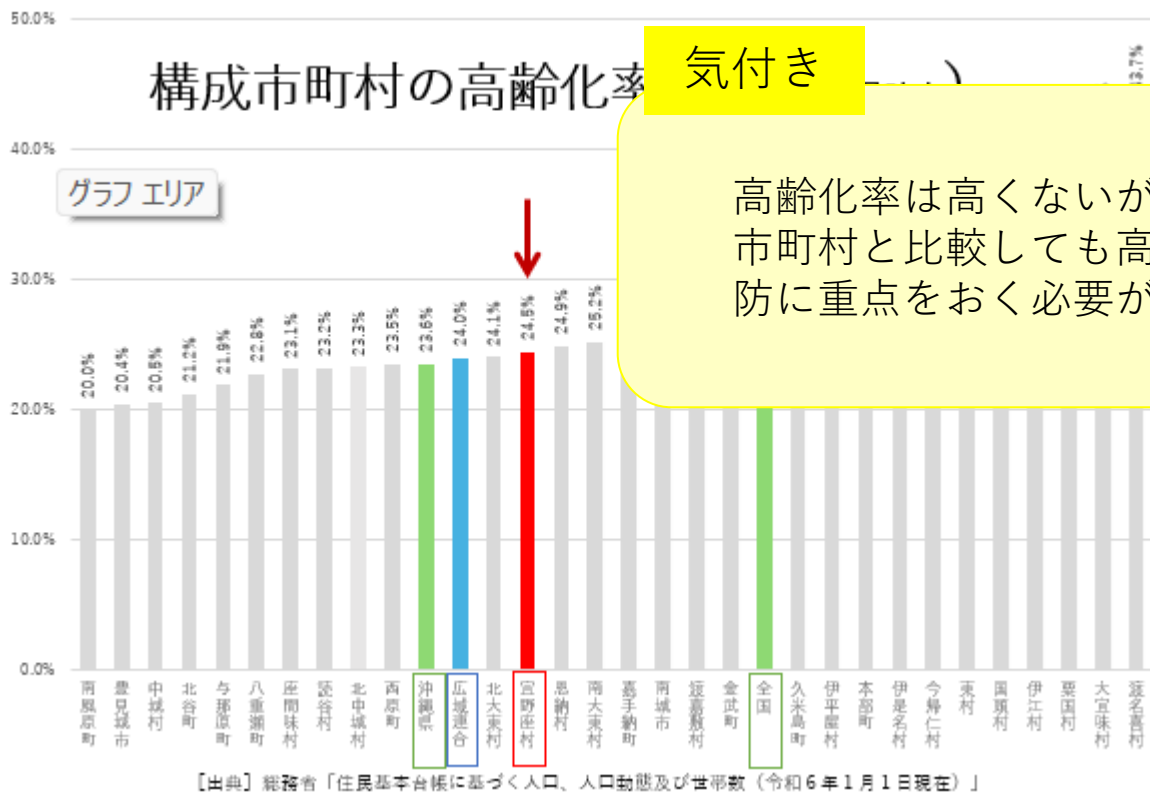
通いの場が少なく、自主体操を急ぎで進める必要があると思っていたけれど、既存の通いの場を把握しただけでも47か所。目指す数を50か所としていたが、意外と多かった。



総合事業の理想と現実の整理

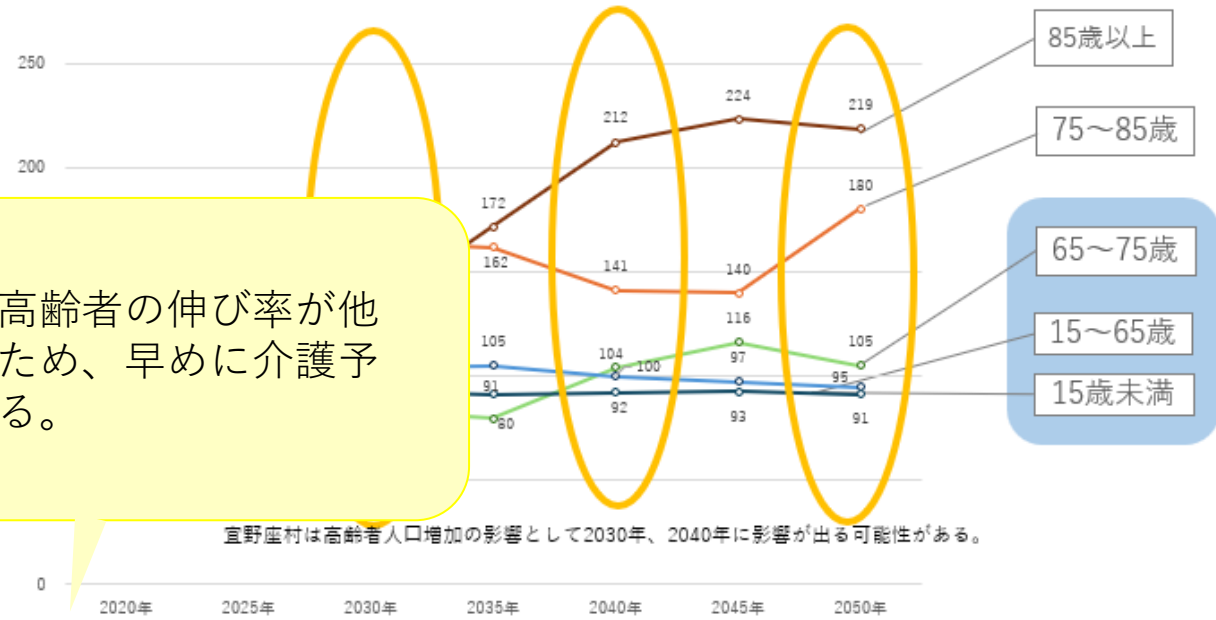
通いの場の整理

# 宜野座村を取り巻く状況を見える化する



構成市町村の高齢化率

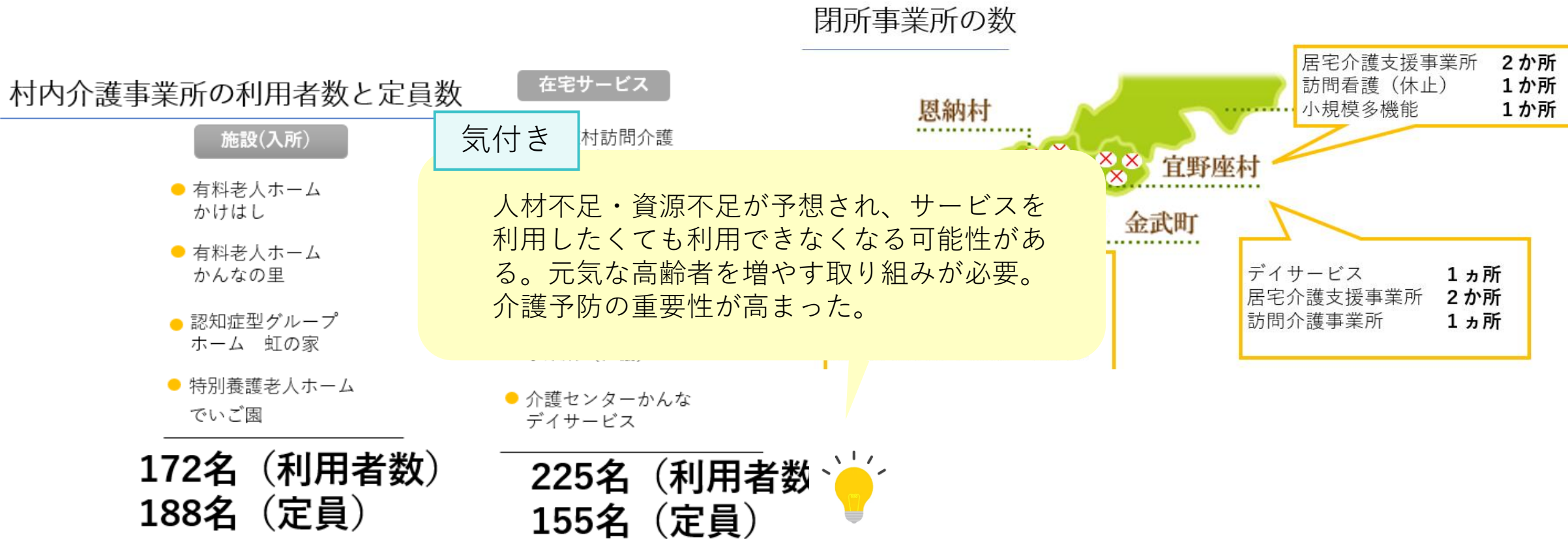
## 2020年を100とした人口推移予測



人口推移予測

※（出典）  
 ●構成市町村の高齢化率：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日現在）」  
 ●人口推移予測：[出典]総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日現在）」

# 宜野座村を取り巻く状況を見える化する



介護人材不足と受け皿（介護サービス）の減少

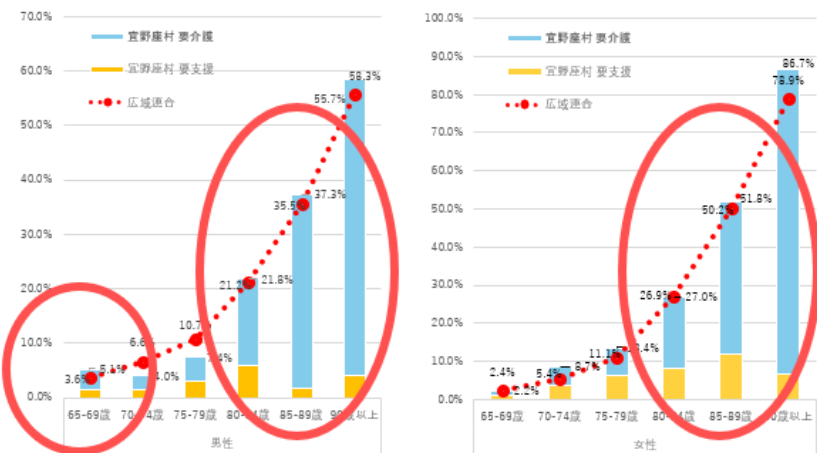
※（抽出方法）

●利用者数と定員数：各事業所管理者へ調査

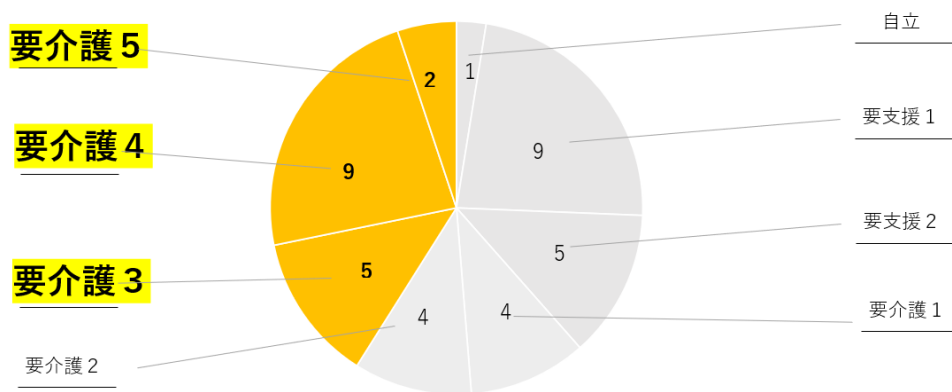
●閉所事業所数：各市町村担当者へ確認

# 宜野座村を取り巻く状況を見える化する

5歳刻み年齢別 要介護認定率（令和5年3月）



新規で重度の認定を受ける方の割合が高い



## 介護認定率・新規介護認定の方の区分整理

悪性腫瘍・特定疾患・急性感染症等 ..... 17名

脳血管疾患（脳梗塞・脳出血） ..... 12名

高血圧症 ..... 9名

糖尿病 ..... 8名

29名

認知症 ..... 7名

廃用症候群（フレイル） ..... 6名

13名



### 気付き

いきなり重度介護認定を受ける方が多く、重度化防止のためには若いうちから健康意識をもつこと・保健分野との連携が必要。また、認知症や廃用症候群で新規重度介護認定を受けるということは、相談につながっていないケースが考えられ、相談窓口の普及啓発をする必要性がある。

※（抽出方法）

- 5歳刻み年齢別要介護認定率：沖縄県介護保険広域連合より
- 新規で重度認定を受ける方の割合：リームスで新規申請リストを抽出
- 新規申請で重度介護の方の原因：認定調査内容を確認・分析

# ビジョンを達成するために必要なこと

1

後期高齢者の伸び率が高く、  
2040年には高齢化の影響を受  
ける可能性がある

あと5年以内には体制を  
整える必要がある

介護予防を若いう  
ちから浸透させな  
ければならない

2

介護人材不足と受け皿  
(介護サービス)の減少

介護事業所や事業所同士  
の連携強化

3

いきなり重度介護認定  
の方が多い

包括や相談先の情報周知  
が足りていない  
高齢者の健康状態が把握  
できていない

悪化してから相談す  
るのではなく早期か  
ら相談できるよう包  
括支援センターを  
知ってもらう

元気な高齢者を増やす

元気で活力に満ちた共生の村

# ビジョンを達成するために必要なこと

1

後期高齢者の伸び率  
2040年には高齢化の  
ける可能性がある

少子高齢化の懸  
念事項を住民の  
方々へ伝える

あと5年以内には体制を  
整える必要がある

若いうちから介  
護予防へ取り組  
むために推進班  
との調整が必要

介護予防を推進す  
るために住民ヘリ  
サーチをする

通いの場を知っ  
てもらう

ビジョンの普及  
が必要

村内アマネジャー  
へ介護予防ケアマ  
ネジメントの方針  
を共有する

介護予防の必要  
性について知っ  
てもらう

2

介護人材不足と受け皿  
(介護サービス)の減少

事業所間の  
連携が図れる

介護事業所、事業所同士  
の連携

介護予防の自走  
化が今後は必要

元気な高齢者を増やす

元気で活力に満ちた共生の村

3

相談受付のとき  
のフローを作成  
して整理する

65歳以上の健康  
状態不明者の把  
握と共有

一括や相談先の情報周知

悪化してから相談す  
るのではなく早期か  
ら相談できるよう包  
括支援センター

総合事業を一般  
介護予防事業・  
通いの場への連  
動性を持たせる

保健指導が必要  
な65歳以上高齢  
者の把握と共有

一体化予防事業

相談窓口を知っ  
てもらう

第2層協議体の  
安定化

互助や日頃の取  
り組みを共有・  
できていること  
を見える化する

通所Cと通所  
を実施する必要  
がある

# ビジョンを達成するために必要なこと

- 基本理念（ビジョン）を達成するために必要なことを洗い出したが実施事項はとて多かつた。

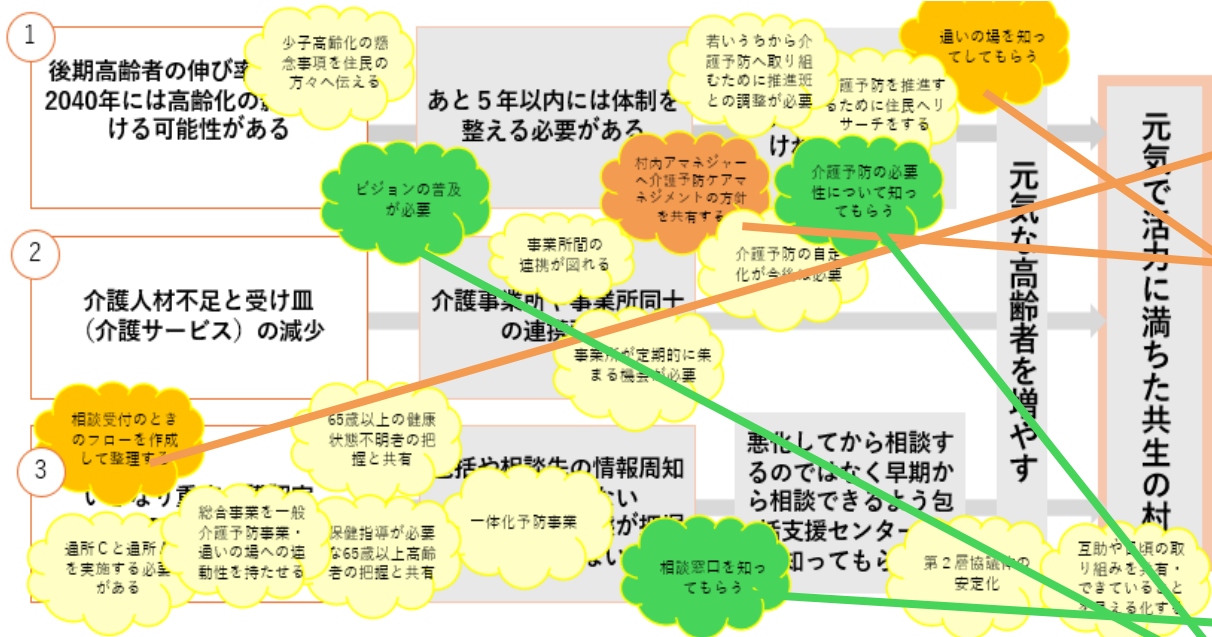
そこでビジョンを達成するために必要な事項をロードマップとして整理し、文章化、見える化を行った。

 **ロードマップの作成**

---



# ロードマップの作成



やること			誰
大項目	中項目	小項目	
●総合事業の入口と出口の再構築	●相談受付時のフローの再整理	(1) ア:対象者像の整理・窓口でのコントロール	照屋
		イ:フローについてディスカッション	照屋
		ウ:ディスカッションを踏まえた再整理	照屋
		エ:フローの関係者間共有 (窓口対応の共有)	照屋
	●介護予防ケアマネジメントの方針共有	1 (2) ア:自立支援型ケアマネジメントのマニュアル化	照屋・
		イ:関係者間での共有	照屋・
		●通いの場の周知	
	(3)	ア:通いの場の整理(手持ちとして整理)	新
		イ:周知方策の検討	新
		ウ:関係者への再周知	新
エ:住民への周知		新	
●宜野座村の高齢福祉について普及啓発	●相談窓口の普及	(1) ア:高齢者の拠点を考える	照
		イ:チラシ作成	新
		ウ:高齢者の拠点へ配布、掲示	新
	●ビジョンの普及	(2) ア:プレゼン資料の作成	照
		イ:窓口で動画を流す(窓口整理)	新
		ウ:各区で動画を流す	新
	●介護予防の必要性について普及	(3) ア:プレゼン資料の作成	照
		イ:各区への講話	川上
		ウ:各団体への講話	川上





# ビジョンを軸にロードマップを作成して良かったこと

優先順位の  
整理ができた

見える化が  
できた

目線が揃った

# これから

つきいちミーティングを  
継続していく

つきいちミーティングで課題を共有し、みんな同じ目線で話し合いが持て事業を進めることができたことで得られた組織の一体感を今後も継続していきます。

ロードマップを完成させる

令和6年度末に掲げたロードマップですが、現在も試行錯誤しながら追加修正をおこなっています。令和8年度に向けてブラッシュアップしていき完成を目指していきたいと考えています。

ロードマップをもとに  
進めていく

これからもビジョンを達成するためのツールとして、ロードマップを活用しながら事業をまわしていきたいと考えています。

関係者も参画してもらえ  
よう協力を仰ぐ

ロードマップを進めていくうえでは周囲関係者や地域有識者の方々の協力を仰いだほうが地域全体で進めていけると考えています。ロードマップの共有を今後は地域関係者も含めて話し合いができればと思っています。

ご清聴ありがとうございました

